

定期的な受診と管理を



(諫早市、31歳女性)

【問い】3歳児健診でむし歯はなかったのですが、癒合歯があると指摘されました。治療は必要ですか。

【答え】癒合歯とは隣同士の歯がくっつき、1本の歯のようになってしまったものがあります。永久歯より乳歯が多くみられ、発現率は乳歯が約2〜3%に対し永久歯は約0・3%程度です。主に下顎の乳前歯にみられます。「生えてきた前歯が何か大きい、形が違う、真ん中がへこんでハート形をしている」と気付くことも多いようです。

原因ははっきりしていませんが乳歯の卵(芽)がつくられる胎児の時に、何かの拍子にくっついてしまい、そのまま生えてきたのではないかと考えられています。癒合歯自体は特に治療の必要はありませんが、注意点が二つあります。

一つ目は癒合している溝に汚れがたまりやすくむし歯のリスクが高くなります。基本的には溝の部分までしっかりと

と歯磨きをすることが大切です。シーラントと呼ばれるプラスチックで溝をコーティングしたり、フッ化物を塗布したりしてむし歯のリスクを下げる処置が効果的です。

二つ目は永久歯への生え替わりが起こりづらくなります。歯が2本くっついているため、乳歯の根の吸収が遅れる、つまりグラグラしづらくなります。極端に生え替わりの時期が遅れると歯並びや噛み合わせに影響が出ます。

三つ目は癒合歯の下から生えてくる永久歯が元々ない可能性があります。生え替わりが始まる5、6歳頃にエックス線撮影で、癒合歯の根の吸収状態や永久歯の数、位置を確認してもらいましょう。今後のかみ合わせや歯並びを予測し、対応できるように準備しておくとういでしょう。

癒合歯を発見・指摘されても慌てることはありません。かかりつけの歯科医院で定期的な管理を行い、安心して永久歯の生え替わりを迎えられるようにしましょう。

癒合歯

回答者
もりた ともみ
森田 倫己
諫早市多良見町
森田歯科医院歯科医師



質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付けます。県歯科医師会の先生方が回答します(直接本人に回答はしません)。症状などを分かりやすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記し、〒80521-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯科医師会のホームページは「80020ながさき」で検索できますので参考にしてください。